

平成14年8月度 大丸営業報告

1. 8月度営業概況

- ・ 前年に比べて土曜日が1日増となり、ファッション商品の動きが良かったことなどから、須磨店・芦屋店を加えた直営9店舗の売上高は、対前年7.7%増、既存7店舗では同0.9%増となった。(本社の手数料収益などを除く店舗売上高では、直営9店舗は対前年8.5%増、既存7店舗は同1.7%増。)
- ・ 婦人服は、プレタポルテなどの高級品はやや苦戦したものの、ミセス・ヤングはカットソーを中心とした秋色夏素材の商品や、肌着などが好調に推移、婦人洋品は、アクセサリ、ハンドバックなどの動きが良く全体を引っ張った。
- ・ 紳士服・洋品は、苦戦が続いていた重衣料やネクタイなどビジネス関連品の動きが活発化し、4ヶ月振りに前年を上回った。
- ・ 東京店は、婦人・紳士・食品などの主力部門がいずれも前年増となったことに加え、幕張の「恐竜博」に出店した売店の売上が好調であったことが寄与し、高い伸び率を達成した。
- ・ 梅田店は、4月以降、売上・入店客数共に前年を下回り続けていたが、漸く入店客数が前年を上回り、店舗売上も最小のマイナス巾に止めた。

2. 8月度店舗別売上高対前年増減率(%)

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心斎橋店	2.8	4.9	3.3	4.0	1.0	±0日
梅田店	2.1	4.0	1.7	2.4	1.2	±0日
大阪地区計			2.6	3.3		
東京店	3.6	73.5	9.9	9.1	2.1	±0日
京都店	3.5	1.8	2.6	1.9	2.2	±0日
山科店	1.1	5.8	1.2	0.7		±0日
京都地区計	3.3	1.8	2.5	1.8		
神戸店	4.5	4.4	3.3	2.6	2.2	±0日
新長田店	5.7	14.1	5.8	6.3		±0日
須磨店	--	--	--	--		±0日
芦屋店	--	--	--	--		±0日
神戸地区計	32.4	8.0	29.5	28.5		
全社合計	8.7	7.0	8.5	7.7		
既存7店舗計	1.3	4.1	1.7	0.9	0.5	

前年と比較して土曜日が1日増

入店客数の計は既存5店舗計

3. 上期累計（3月～8月）店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心齋橋店	3.9	8.4	5.4	5.4	5.7	±0日
梅田店	4.2	5.9	4.3	4.4	2.1	±0日
大阪地区計			5.0	5.0		
東京店	1.5	5.0	0.6	0.5	0.3	±0日
京都店	0.9	3.0	1.4	1.4	0.2	1日
山科店	2.2	4.9	2.2	2.1		±0日
京都地区計	0.7	3.0	1.1	1.2		
神戸店	2.2	2.4	1.3	1.3	0.3	±0日
新長田店	6.0	1.8	5.9	6.0		±0日
須磨店	--	--	--	--		±0日
芦屋店	--	--	--	--		±0日
神戸地区計	26.6	6.3	23.1	23.0		
全社合計	5.4	3.4	3.7	3.6		
既存7店舗計	1.1	5.4	2.0	2.0	1.7	

前年と比較して土曜日、日曜日・祝日は同日数

入店客数の計は既存5店舗計

4. 8月度商品群別全社売上対前年増減率（％）

商品群	8月度		上期累計（3月～8月）	
	9店計	既存7店計	9店計	既存7店計
紳士服・洋品	2.2	0.2	5.3	7.3
婦人服・洋品	8.9	4.1	6.1	1.2
子供服・洋品	5.6	1.8	6.0	0.4
その他の衣料品	2.5	2.5	0.5	0.5
衣料品計	7.0	2.7	3.3	0.8
身の回り品	1.8	1.6	3.2	6.1
家具	18.3	18.3	11.2	11.2
家電	33.2	33.2	8.9	8.9
その他の家庭用品	3.5	1.8	0.4	4.2
家庭用品計	3.6	6.7	4.0	6.8
食料品	17.8	0.0	13.4	0.9
食堂・喫茶	3.8	0.9	1.8	2.6
雑貨	2.5	4.3	0.7	2.5
サービス	13.8	12.2	13.0	10.4
その他	122.6	118.0	9.7	7.5
合計	7.7	0.9	3.6	2.0

お問い合わせ先

株式会社大丸 本社広報室

TEL (06) 6281-9002

FAX (06) 6245-1343

以上